未来のカゴ編み　あたけぼね　ATAKEBONES　bendegrity

ベンデグリティ m キット

中身
ストラット　有効長12cm　30本
ピン　70個
原材料 ポリプロピレン タルク

フラーの有名なテンセグリティ構造の裏返しで、どんな形状の曲面でも、正多角形で分割すれば、辺数分のストラットで組み立てられます。

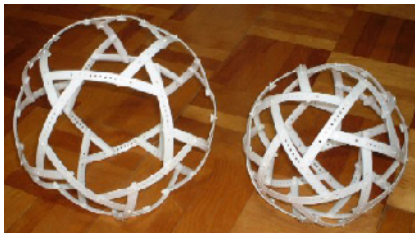
標準小売価格　\2,000.-

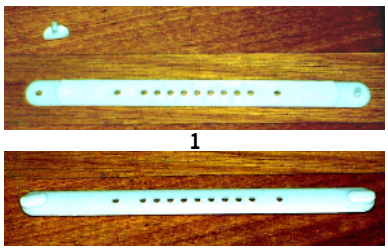
このキットで組み立てられるベンデグリティ多面体
辺数30以下の多面体
正多面体5種類、切頂4面体、立方8面体、菱形12面体
各種の角錐、多角柱、多角双錘、反柱
多面体がいくつかつながった形
双極ベンデグリティ　など　100種類以上

←さらに本数があればこんなものも

マニュアル付き

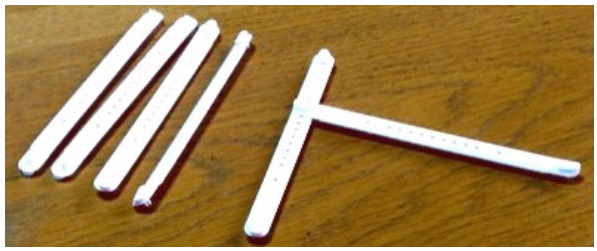
発売元　株式会社 阿竹研究所
〒468-0068　名古屋市天白区表台15 tel 052-834-6362
http://www.atake-i.com　http://www.atakebones.com
EMAIL atake@atake-i.com



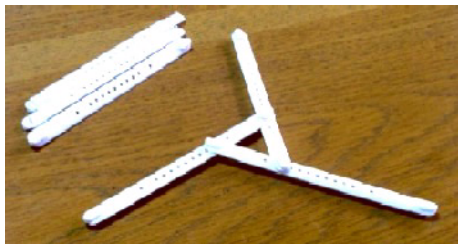


1

2



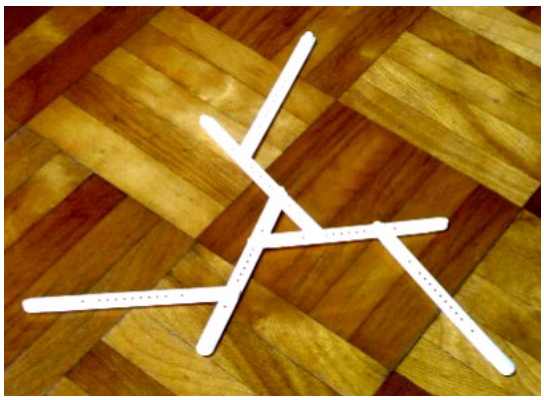
3



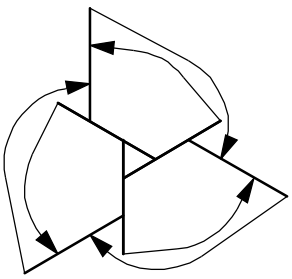
4

組み立て手順　四面体を例に

1.　ストラット(棒)の両端の穴の裏側(曲面側)からピン差し込みます。
2.　裏側から見たところ、出来上がったときにこちらが内側になります。
3.　必要な本数全部の両端にピンを差し込みます。つづいて裏返しのまま中央の9連の穴の右端に別のストラットのピンを差込み、Ｔ字型に組み立てます。この穴の位置はちょうど両端の穴の間を三等分しています。
4.　さらに一本のストラットを同じ位置の穴で止め、最初のストラットの端のピンを三本目の同じ位置の穴の上から止めます。三本は風車状に回転対称になります。
5.　6本をこのように組み立てます。



5



6

6．このあとどのようにストラットの先端を立体的に留めていくかの図です。
ベンデグリティダイアグラム、略してベンダイアと呼ぶことにします。
7．まず一本目、ピンの先端が曲面の外側に向くようにストラットを曲げます。
8．順にピンを留めていきます。
9．最後の一本をとめて、
10．四面体の出来上がり。小さな三角三個と大きな三角三個からできていて、
ピンの位置をストラット両端に移動すると小さな三角が小さくなって正四面体に近づき、
中点に近づけると正八面体に近づきます。

7

8

9

10